

平成26年度 住吉高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

	項目	目標	行動計画	検証結果
①	法令遵守意識の向上（公務外非行の防止・職員行動指針の周知及び徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を損なうことの無いよう不祥事の防止に努める。	職員会議等を活用し、日ごろより公務員としての自覚と意識を高める。	○
②	わいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく感覚を育成し、未然に防止する。	職員・生徒が容易に相談できる態勢を整備し、迅速かつ組織的に行為の根絶を図る。	○
③	体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導をなくす。	生徒の人権を守る生徒指導の徹底を図り、不適切な指導により保護者の信頼を損なうことがないよう、日ごろより生徒の視点に立った指導の意識を高める。	○
			新聞報道等の不適切な指導の事例を紹介し、不祥事防止に向けた意識を高める。	○
④	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を防止する。	成績処理に係るマニュアルを全職員に周知・徹底し、共通理解を図る。	○
			調査書発行及び推薦業務に係るマニュアルを見直し、業務の効率化と厳重な点検を複数の職員により適切に行う。	○
⑤	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等を適切に管理し、情報セキュリティ対策を講じ事故防止に努める。	職員会議や朝の打合せなどの機会を適宜活用し、職員全員を対象に啓発を図る。	○
			校内の個人情報管理の規定について、適切な運用が為されているか日常の自主点検で確認し、適切な管理の徹底を図る。	○
			携帯電話・USBメモリ等個人情報に係る記憶媒体の適正な取扱いを周知し、持ち出しの許可手続きの徹底を図る。	○
⑥	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	酒酔い、酒気帯び運転を防止するとともに、常に安全運転を心がける。	過去の事故から学ぶ職員研修を実施し、交通法規の遵守を確認する。	○
			飲酒の機会が多くなる時期を中心として相互点検を行い、飲酒・酒気帯び運転につながる機会を作らないよう啓発を徹底する。	○

⑦	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う。	定期テスト等の作成に当たり、マニュアルにそったチェック体制の徹底を図り、誤りのないテスト問題の作成を徹底する。	○
			不祥事防止に係る職員全員を対象とした研修会を、職員会議の前後に設定するなどして、年数回実施する。	○
			県民からの期待と信頼維持を心がけ、来客者・電話応対を丁寧に行う。	○
			共有フォルダ等を適切に使用し、情報の共有により時間の浪費を避け、円滑に業務を遂行する。	○
⑧	会計事務等の適正執行	私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める。	県立学校財務事務調査の指導結果を基に、改善点の検討および改善方法の職員全員への周知を徹底し、私費会計の適正管理を行う。	○
			私費担当者会議において、改善の進捗状況の確認と全職員への報告および周知を行う。	○
			銀行振り込みを活用し、できるだけ現金を扱う機会を減らす。また、現金を管理する場合は金庫管理後速やかに口座に入金するなど、事故防止に努める。	○
⑨	学者選抜に係る事故防止	県立高等学校における入学者選抜の実施に係る選抜資料等作成のための基本マニュアルを遵守し、一人ひとりが責任をもって業務に当たる。	基本マニュアルにそった入選業務マニュアルとなっているかを確認し、職員を適切に配置する。	○
			組織として業務全体を把握し、内容の徹底を図りすべての職員が協力して業務に当たる。	○

検証

達成できた・・・○

一部達成できた・・・△

達成できていない・・・×